



きりんぐみだより

7月

2021年7月1日 保土ヶ谷保育園
きりん組担任

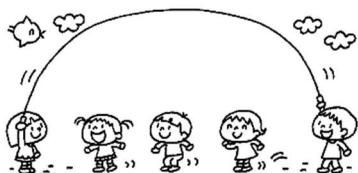
<最近の子どもたちの様子>

雨が降っていない日は、朝から園庭で元気いっぱい遊ぶ子どもたち！鉄棒・縄跳び・ドッチボール・だるまさんがころんだ。そして植込み近くに集まり虫探し。雨上がりの朝はタイヤにたまった水をバケツに集め、どろ作り。本当に子どもたちは遊びを見つける天才ですね!!

どろんこと水あそびも始まりました。どろんこはただペタペタと土の感触を楽しむだけではなく、もう一歩先をゆくきりん組さん。担任が少し仕掛けただけでカーブする川を作り、水が途中で止まるのは何故だろう？と考え「こっちの方が高いからだ！」と掘り進め、次は大きな山とトンネル作り。トンネルを作り過ぎて山が崩れた時は、何故か一人も残念がる子はいませんでした。みんな満足そうな表情で一斉に「こわそう！」と言い山にジャンプ!!水あそびでは、まず水の掛け合い。タライを盾代わりにする作戦やタライを集め、まず水をためる作戦等子どもたちなりに考えています。水のかけ合いがひと段落すると、のんびりタライにつかる子、オモチャを並べて「いらっしやいませ〜」とお店屋さんごっこをする子たちもいます。今月も夏ならではの遊びを沢山していきたいと思います。

<夏野菜>

夏野菜もスクスク生長し、きゅうり・ナスに続きピーマンも実を付け始めオクラにも花が咲き実がなるのが待ち遠しいです。収穫した野菜を給食室に持って行き、どうやって食べるか決めるのも楽しみのひとつになっています。



<SDGs>

“SDGs”という言葉はTVや新聞で良く見聞きするようになりましたね。子どもたちにも分かりやすい絵本を購入し読み聞かせをしました。(めだか文庫にもあります)すると…、製作後の片付け中、今までだったら何でも捨てていた子どもたちが「先生！この紙はまだ使えるよね。もったいないよ」という声が聞かれ、給食中も「食べられるだけおかわりしよう」と言い、残食を入れるカゴが今までよりも少なくなりました。子どもたちの素直で真っすぐな心に感動しました。



<カニさんごめんね>

川辺町でカニを3匹捕まえて持ち帰り飼う事にしました。でも…次の日1匹死んで1匹は行方不明。次の日は最後の1匹も死んでしまいました。そこで、みんなで話し合いました。「あのまま川にいたらカニさん死ななかったかも？」「捕まえても帰る時は返してあげよう」「虫でもそうしよう」と決めました。カニさんにはかわいそうな事をしてしまったけど、命の大切さを知ることが出来ました。



<お願い>

水あそびは、登園時に着ていた服のままですることがあるのでパンツを多めに補充しておいてください。ない時はどろんこのパンツをはいて帰りますので、その時はどろんこのパンツの補充もお願いします。またタオルを使った次の日はタオルを忘れずに持たせてください。